

平成 26 年度

扶桑町財政健全化等審査意見書

扶 桑 町 監 査 委 員

27 扶 監 第 45 号
平成 27 年 8 月 24 日

扶桑町長 江戸 満 様

扶桑町監査委員 岩本 幸 松

扶桑町監査委員 近藤 五四生

平成 26 年度扶桑町財政健全化等審査意見について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第 3 条第 1 項及び同法第 22 条第 1 項の規定に基づき審査に付された平成 26 年度扶桑町財政健全化判断比率及び資金不足比率並びにその基礎となる事項を記載した書類を審査した結果について、次のとおり意見書を提出する。

平成26年度財政健全化等審査意見書

第1 審査の概要

この財政健全化等審査は、町長から提出された、平成26年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率の算定の基礎となる事項を記載した書類が、適正に作成されているかどうかを主眼として実施した。

第2 審査の方法

審査にあたっては、健全化判断比率及び資金不足比率が財政健全化法及び関係法令等に基づいて作成されているか、各指標の算定は適正か、また、その根拠数値は正確かどうかを検証するため、その算定基礎となった関係書類との照合、計算、必要に応じて関係職員からの説明聴取を受け審査した。

第3 審査の結果

1 総合意見

審査に付された健全化判断比率及び資金不足比率は、下記のとおりである。財政健全化法及び関係法令等に基づいて作成されており、その算定は適正であると認められる。

記

(1) 健全化判断比率 (単位：%)

区 分	平成26年度	早期健全化基準
① 実質赤字比率	該当なし	14.40
② 連結実質赤字比率	該当なし	19.40
③ 実質公債費比率	1.4	25.0
④ 将来負担比率	該当なし	350.0

(2) 資金不足比率 (単位：%)

区 分	平成26年度	経営健全化基準
公共下水道事業特別会計	該当なし	20.0

2 個別意見

(1) 健全化判断比率

① 実質赤字比率について

平成26年度の実質収支は黒字のため、実質赤字比率は該当ありません。

② 連結実質赤字比率について

平成26年度の連結実質収支は黒字のため、連結実質赤字比率は該当ありません。

③ 実質公債費比率について

平成26年度の実質公債費比率 1.4%となっており、早期健全化基準の25.0%と比較すると、これを下回り良好な状態にあると認められる。

④ 将来負担比率について

平成26年度の将来負担比率は充当可能財源等が将来負担額を上回るため、将来負担比率は算定されない。したがって、良好な状態にあると認められる。

(2) 資金不足比率

資金不足額がないため、資金不足比率は算定されない。したがって、良好な状態にあると認められる。

第4 是正改善を要する事項

特に指摘すべき事項はありません。